

BioHackathon 2013

<http://2013.biohackathon.org/>

Organized by

National Bioscience
Database Center
&
Database Center for
Life Science



生命情報科学の国際開発者会議

バイオハッカソン 2013/6/23-28

第6回目をむかえる国際開発者会議 BioHackathon は、ゲノム情報をはじめ膨大な情報が蓄積されつつある生命科学のデータを、最先端の技術で解析・解釈するための技術開発を行う実践的なワークショップです。

世界中でデータベースやソフトウェアを開発している第一線のエンジニアが集まり、より優れた技術の発展と標準化を目指してプログラム開発やガイドライン作成にあたります。

初日には一般公開のシンポジウムを開催し、この分野における最新の動向についての講演を行います。ここで参加者間での情報共有をし、翌日から1週間にわたって合宿形式でソフトウェア開発にあたるハッカソンに引き継がれます。なお、バイオハッカソンとは、生物学の「バイオ」と、高度なソフトウェア開発をさす「ハック」、それを連日つづける意味での「マラソン」、これらの言葉を組み合わせた造語です。

ハッカソンは非常に効率的な会議のスタイルとして注目が集まっており、近年では様々な分野での開催も増えてきています。



過去の開催実績と今回の開催概要

<http://biohackathon.org/>

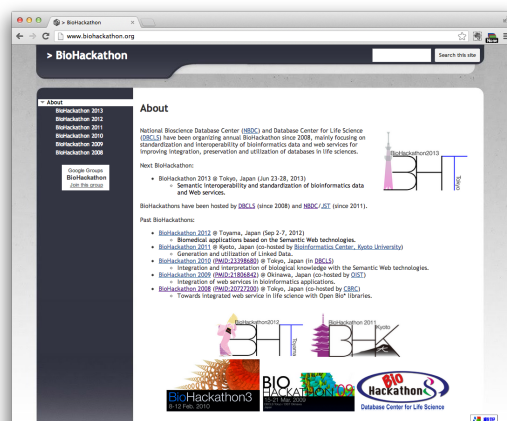
BioHackathon はバイオサイエンスデータベースセンター(NBDC)と、ライフサイエンス統合データベースセンター(DBCLS)の主催です。これまでに、東京・沖縄・東京・京都・富山と、5回の開催実績があり、毎回100人近い参加者が国内外から参集して大きな成果を挙げています。

- 第1回 BioHackathon 2008 (東京)
ウェブサービスの標準化
- 第2回 BioHackathon 2009 (沖縄)
ワークフローと相互運用性
- 第3回 BioHackathon 2010 (東京)
セマンティック・ウェブと知識統合
- 第4回 BioHackathon 2011 (京都)
Linked Data と周辺技術開発
- 第5回 BioHackathon 2012 (富山)
Linked Data のライフサイエンス応用

第6回目となる BioHackathon 2013 では、生物学や医学に関わる膨大なデータを、次世代のデータ統合利用技術として期待される、セマンティック・ウェブを利用して活用し、より高度なシステムを構築するための技術開発を行う予定です。

今回は、初日の6月23日(日)に新しい東京のシンボルである東京スカイツリーのイベント会場Space 634をお借りしてシンポジウムを開催、その後は東京大学浅野キャンパスにあるライフサイエンス統合データベースセンターにて、6月24日(月)~28日(金)の5日間にわたりハッカソンを行う予定です。

シンポジウムでは、世界各国からの参加者と国内のグループからの講演が予定されています。医学生命科学における新しいデータベース技術に触れることのできるチャンスですので、多数の参加をお待ちしております。参加費は無料でどなたでもご参加頂けます(講演は英語で行われます)。



Photo

過去のBioHackathon
シンポジウム会場と
受け付けの風景

